



SCHOOL GUIDE

2025

ICHINOSEKI
DAIICHI
SENIOR HIGH
SCHOOL

岩手県立一関第一高等学校



併設型中高一貫校

学校教育
目標
(スクール・ポリシー)

岩手で、日本で、 世界で活躍するリーダーの育成



どのような力が身につくの？ (グラデュエーション・ポリシー)

- 自主独立の精神を持ち、多様性を認めながら、他者と共同する高い人間性
- 身につけた知識・技能を、地域・国際社会等の課題解決のために活用する探究心
- 社会の変化に対応し、主体的に人生設計を立て、進路を選択する能力

どのように学ぶの？ (カリキュラム・ポリシー)



- 教科横断的な主体的・対話的で深い学び
- 学習内容を社会の様々な場面で活用するための探究的な授業
- ICT機器の効果的活用等による個別最適な学びと協働的な学び
- 国内外の高等教育機関や高等学校との連携・協働による高度で先進的な学び
- 産業界等と連携した生徒の発達段階に応じたキャリア教育・職業教育
- 科学技術やものづくり・理科・数学等に対する関心を高めるための教育環境
- 部活動、生徒会活動、ボランティア活動等において生徒の自発的な活動

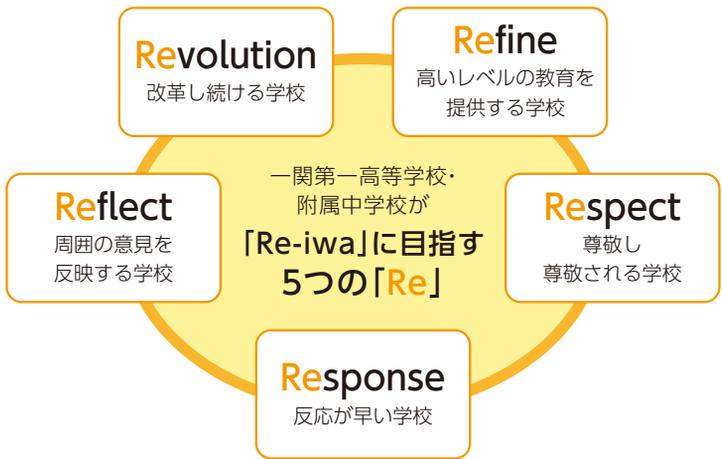


4年制 (定時制) (4年間) 教育課程、基礎基本重視指導と支援、体験型学習



関高はこんな生徒を待っています！ (アドミッション・ポリシー)

- 他者をいたわる気持ち、社会に貢献する強い意志、次世代のリーダーとなる意欲を持つ生徒
- 多様性を認め、自他の命を尊重し、他者と協働して学ぼうとする生徒
- 自ら学び続ける意欲を持つ生徒
- 将来の夢を持ち、その実現に向けて努力できる生徒



学びをサポートする魅力化共同パートナー

- 一関市 ● 地域企業 ● 一関高専 ● 岩手大
- 東北大 ● 岩手県立大 ● 岩手医大 ● 盛岡大

輝く未来を引き寄せるカリキュラム

令和8年度から普通科に探究コースを設置します

岩手県立高等学校入学者選抜

くくり募集

普通科と理数科を一括して募集します



1年
普通科
理数科

1週間あたりの授業時間数

それぞれの科目の下または横の数字は1週間あたりの授業時数

現代の国語 2	言語文化 2	地理総合 2	歴史総合 2	高志数学			高志物理	高志生物	体育 3	保健 1	選択芸術2	英語コミュニケーション 3	論理表現 I 2	家庭基礎 2	情報 I 2	LHR 1	高志探究 I 2
				数学 I 3	数学 II 1	数学 A 2	物理基礎 2	生物基礎 2			音楽 I						

2・3年
普通科

- 文系 文 I (国公立)** 文系教科にやや重点をおいて学習し、国公立大学文系を希望するコース。
- 文系 文 II (私立)** 文系教科に重点をおいて学習し、私立大学文系を希望するコース。
- 理系 (国公立・私立)** 理系教科にやや重点をおいて学習し、国公立大学理系を希望するコース。
- 探究 (国公立・私立)** 文理融合型の学問分野に対応し、外部機関と連携しながらより探究に特化して学びを深めるコース。

2・3年
理数科

科学的な能力や数学的な能力を高めることを目的として「柔軟な思考力や創造的な能力を育成すること」「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得すること」を目指します。将来、幅広い知識が要求される理系学部への進学を希望する生徒に適しています。

SSHの取り組み (スーパーサイエンスハイスクール)

本校は、2019年からSSHに指定されています。科学的素養と豊かな人間性・創造性を持ち、地域を興し世界の発展に貢献する科学技術人材を育成するために、高志探究(探究的学習)、フィールドワーク、高大産連携事業等に取り組んでいます。



本校の特徴的な取り組み

実験・実習やスキルアップ講座から、探究活動に必要なスキル、科学的な見方・考え方を身につけることができます。



中学生との合同課題研究など、協働活動を通じて、リーダーシップなど豊かな人間性を育むことができます。



講演会やフィールドワークを通じて、地域の課題を見つけ、解決に向けた創造力を養うことができます。



大学や行政機関など、多くの出張講座から、進路につながる興味・関心を高めることができます。



さらに理数科では

大学教員の助言・指導を受けて、課題研究をどんどん深めることができます。国際的に活躍する力を身につけるため英語での課題研究発表会を行います。最先端理数研修では、関東方面の研究機関で最先端の研究内容について学ぶことができます。



生徒の声より

- 【出張講義】** すごく面白かった。自分の今後のやりたい仕事や行きたい大学について明確にすることができた気がする。やりたいことを学べるように今後も勉強を頑張っていきたい。
- 【全校発表会】** 普段関わることが少ない附属中3年生と一緒に取り組んだ事により、先輩としての自覚や、細部まで気を配る力を鍛えることができた。このメンバーで集まることはもうないので、貴重な経験になった。
- 【フィールドワーク】** また今回は、あまり予習をしていなかった遊水地についての話を聞いた。小学生のころ何度も聞いた話で知っていることも多かったが、今話を聞くのでは理解度が全然違った。小さいころ聞いてあまり興味のなかったものでも、今聞くと全く違う世界が広がっているかもしれないことに気づいた。

高い志を持ち 切磋琢磨する仲間たち



学校生活1日の流れ

●毎日50分×7時間授業

8:05	8:35	9:35	10:35	11:35	12:25	13:10	14:10	15:20	16:20	~18:50		
朝学習	SHR	1校時	2校時	3校時	4校時	L T	5校時	6校時	清掃	7校時	部活動	完全下校
8:20	9:25	10:25	11:25	12:25	13:10	14:00	15:00	16:10	18:30			

年間各種行事計画



前期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	後期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	入学式 対面式	応援歌練習 生徒大会	前期中間考査 クラスマッチ	体育祭 高校野球県大会	夏季課外(3年生) SSH高志探究特別授業	文化祭 前期末考査		開校記念日 生徒大会	後期中間考査 修学旅行(2年生)	SSH高志探究特別授業 SSH高志探究全校発表会	冬季課外(3年生)	大学入学共通テスト 学年末考査	個別学力検査前期



岩手県立一関第一高等学校・附属中学校
SSH
高 中
文部科学省指定 スーパーサイエンスハイスクール

流した汗も、栄光も、悔し涙も 高校生ならではの特権

運動部

- 陸上競技部
- 水泳部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- 卓球部
- ソフトテニス部
- サッカー部
- バドミントン部
- ソフトボール部
- 軟式野球部
- 剣道部
- 弓道部
- 硬式野球部

学芸部

- 書道部
- 美術部
- 音楽部
- 吹奏楽研究部
- カメラ部
- 科学探究部
- 英語研究部
- 競技歌留多部
- 茶道部
- 文学部
- 軽音楽部

令和6年度 運動部・学芸部 主な活動実績

(県大会ベスト4以上 もしくは東北・全国大会出場)



陸上競技部

- 第76回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技
女子 5000m競歩 第1位 (東北大会出場)
男子 400m 800m 第4位、第6位 (東北大会出場)
- 第75回岩手県高等学校新人陸上競技大会
女子 走幅跳 第3位 (東北大会出場)

水泳部

- 第79回東北水泳大会
男子 400m自由形 第3位 (全国大会出場)
男子 200m自由形 第4位
女子 個人メドレー 200m 400m 第4位 (全国大会出場)
- 男子 個人メドレー 200m 出場
男子 200mバタフライ 出場
女子 背泳ぎ 100m 200m 出場
- 第32回東北高等学校新人水泳競技大会
女子 個人メドレー 400m 第1位
200m 第2位
- 第62回岩手県高等学校新人大会水泳競技
男子 100m自由形 第3位
男子 個人メドレー 400m 200m 第2位 (東北大会出場)
- 女子 200m背泳ぎ 第1位 (東北大会出場)
女子 100m背泳ぎ 第2位 (東北大会出場)
女子 個人メドレー 400m 200m 第1位 (東北大会出場)

卓球部

- 第76回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技
女子ダブルス 第2位 (全国・東北大会出場)
女子シングルス 第3位 (全国・東北大会出場)
女子シングルス ベスト8 (東北大会出場)

軟式野球部

- 第76回岩手県高等学校総合体育大会軟式野球競技 優勝
- 第18回春季東北地区高等学校軟式野球大会 第3位
- 第69回全国高等学校軟式野球選手権東北大会 準優勝

吹奏楽研究部

- 第62回岩手県吹奏楽コンクール
高等学校小編成の部 金賞 (岩手代表)
- 令和6年度東北吹奏楽コンクール
高等学校小編成の部 金賞 (東北代表)
- 令和6年度東日本中学校吹奏楽大会
高等学校の部 金賞

音楽部

- 第76回全日本合唱コンクール岩手県大会 金賞 (東北大会出場)
- 第76回全日本合唱コンクール東北支部大会 金賞

競技歌留多部

- 第31回岩手県高等学校かるた選手権大会
団体戦 優勝 (全国大会出場)
個人戦 第1位、第2位、第3位、第4位、第6位 (全国大会出場)
- 第31回岩手県高校かるた大会
(第47回岩手県高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門)
個人戦A級 第2位、第3位、第5位 (東北大会出場)
- 第30回岩手県高等学校かるた新春大会
個人戦A級 第2位、第3位

美術部

- 令和6年度若者向け県議会傍聴案内ポスターデザインコンテスト 副議長賞

書道部

- 第40回成田山全国競書大会 書道協会会長賞
- 第40回高円宮杯日本武道館書道大展開覧会 日本武道館賞
- 第29回日本教育書道振興会全国展 毛筆作品の部 奈良県知事賞

文学部

- 第47回岩手県高等学校総合文化祭テーマ募集 最優秀賞
- 岩手県高校生文芸コンクール
詩部門 優秀賞
小説部門 優秀賞
- 全国高文連主催 第39回全国高等学校文芸コンクール
俳句部門 最優秀賞・全国文芸専門部会長賞
詩部門 優秀賞

英語研究部

- 岩手県Kenji Cup高校生英語ディベート大会 3位、4位 (全国大会出場)
- 第19回全国高校生英語ディベート大会in岡山 出場
- 第10回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会2024 出場
- 第14回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯岩手県大会 第1位 (全国大会出場)

科学探究部

- 令和6年度科学の甲子園岩手県大会 第3位
- 第47回岩手県高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表大会
及び第71回岩手県高等学校理科研究発表大会
研究発表部門 優秀賞



伝統と革新 新しい未来を切り拓く



国公立大学 105 名合格 (令和7年度入試実績)

うち医学部医学科6名合格 (東北大1名 山形大1名 秋田大4名)

帯広畜産大 1名	茨城大 6名	青森県立保健大 1名
北海道大 1名	宇都宮大 1名	青森公立大 2名
北教大函館校 4名	埼玉大 2名	岩手県立大 6名
室蘭工大 1名	東京大 1名	宮城大 1名
弘前大 5名	東京学芸大 3名	秋田県立大 2名
岩手大 20名	東京科学大 1名	福島県立医科大 3名
東北大 9名	横浜国立大 2名	前橋工科大 2名
宮城教育大 2名	新潟大 4名	高崎経済大 4名
秋田大 5名	大阪大 1名	横浜市立大 1名
山形大 7名	旭川市立大 1名	都留文科大 2名
福島大 2名	釧路公立大 2名	

秋田大学医学部医学科

私が今後の受験生の皆さんに一番大切にしてい
たいと思うことは「自分らしさ」です。ぜひ自分に
しかないものを見つけてみてください。自信を持つ
ことに繋がると思います。さらに、学校内だけでな
く学生団体や外部の講座、留学などの学校外の活
動にも積極的に参加して自分で進路の選択肢の幅
を広げてみることも大事だと思います。

また、今まで支えてくださった先生方や家族、友達、
本当に感謝しています。ありがとうございました。

(合格体験記より)

校訓・校是

<p>しゅうぶん れんぶ 修文練武 学問を修め 武芸を磨く</p>	<p>こうし 高志 高い志を持つ</p>	<p>おんこちしん 温故知新 伝統の中に新しい 価値を発見する</p>
<p>せつさたくま 切磋琢磨 友達と互いに 磨きあう</p>	<p>と 遂げずば やまじ</p>	<p>ふくつふとう 不屈不撓 決して諦めない 強い精神を持つ</p>

と 遂げずばやまじ

日本最初の近代的国語辞典「言海」
を刊行した大槻文彦が、その祖父玄沢
(一関市出身)の戒めの言葉として常に
心にとめていた言葉です。



「意を決して始めたことは

最後までやり遂げねばならない。」

高い志を持って挑戦する本校生の糧となっています。

沿革

- 明治 31年 3月 岩手県一関尋常中学校として創立(10月1日開校記念日)
- 明治 32年 2月 中学校令改正により岩手県一関中学校と改称
- 昭和 23年 4月 学制改革により岩手県立一関高等学校と改称、定時制課程(中心校)を併設
流、真滝、平泉の3分校を設置
- 昭和 23年 9月 アイオン台風来襲の大水害で、校内には流木、泥におおわれ著しく破壊
- 昭和 24年 4月 学校統合により一関第二高等学校、一関市立女子高等学校と組合立一関農業高等学校を統合し、岩手県立一関高等学校となる(流分校独立して花泉高等学校となる)
定時制(昼間)舞川分校設置
- 昭和 25年 4月 商業科設置、定時制(昼間)厳美分校設置
- 昭和 26年 3月 定時制平泉分校を廃止
- 昭和 26年 4月 学校分離により岩手県立一関第一高等学校となる(一関二高分離)
- 昭和 38年 3月 定時制真滝分校廃止
- 昭和 40年 3月 定時制厳美分校廃止
- 昭和 43年 3月 定時制舞川分校廃止(新体育館(旧第一体育館)落成)
- 昭和 47年 3月 商業科募集停止
- 昭和 47年 4月 理数科1学級設置(普通科18学級、商業科3学級、理数科1学級)
- 昭和 53年10月 創立80周年記念式典挙行(同記念第二図書館開設)
- 昭和 63年10月 創立90周年記念式典挙行(研修会館用土地取得)
- 平成 3年11月 第44回全日本合唱コンクール全国大会金賞受賞(音楽部)
- 平成 10年10月 創立100周年記念式典挙行
- 平成 16年 3月 第76回選抜高等学校野球大会に21世紀枠で出場
新校舎建設に係わる予算(設計委託費)が議決
新校舎落成並びに創立110周年記念式典挙行
- 平成 21年 4月 一関第一高等学校附属中学校開校
- 平成 30年11月 創立120周年記念式典挙行
- 平成 31年 4月 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業の指定(第I期)
- 令和 7年 4月 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業の指定(第II期)

創立/明治31年(1898年)
開校記念日/10月1日
校長/三浦立
教職員/70名(全日制49名・定時制10名・事務職員11名)
学級数/全日制 1年 普通・理数科 5
2年 普通科 4、理数科 1
3年 普通科 4、理数科 1
定時制 普通科 4

〒021-0894 岩手県一関市磐井町9番1号
TEL(0191)23-4311(代) FAX(0191)23-4661
ホームページ <https://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/>
note <https://ic1-hs.note.jp>

ホームページ



note



交通機関
JR:一ノ関駅下車 徒歩15分
バス:一関一高前下車 徒歩3分